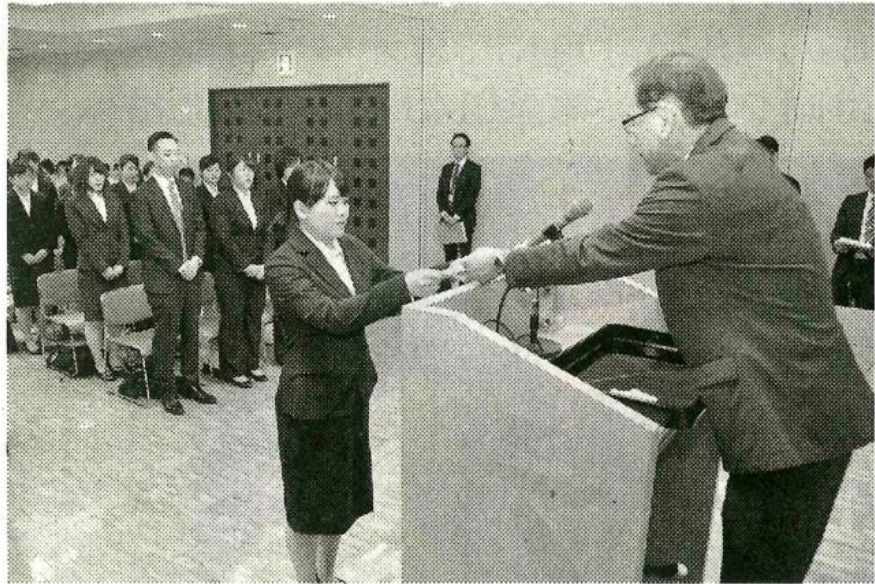


「命と向き合う」決意胸に

室蘭の社会医療法人 辞令交付式



辞令を受け取る新入職員(左)＝製鉄記念室蘭病院

室蘭市内の社会医療法人でも2日、新入職員への辞令交付式が行われ、新入職員の代表が決意を披露。「命と向き合う医療人」としての希望と決

意を胸に、それぞれが新たなスタートを切った。製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)などを運営する社会医療法人・製鉄記念室蘭病院(松木高

雪理事長)の新入職員の辞令交付式は、室蘭市知利別町の同病院で行われ、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、栄養士、保育士、事務職の計51人が入職。

看護師の伊東瑞希さんが代表して、松木理事長から辞令を受け取り、看護師の中川実さんが「思いやりの心を大切にし、安全で信頼される医療の提供を目指す』の法人理念に基づき、地域に貢献したい」と決意を述べた。松木理事長は「患者さんと職員への思いやりを大切に、安全で信頼される医療を担う一員として、楽しく働いてほしい」と激励した。